武器なき斗い（1960）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 137分
初公開日 1960/11/08

【解説】
西口克己の小説『山宣』を、山形雄策と依田義賢が脚色し、山本薩夫が監督した。治安維持法改正に反対した実在の政治家、山宣こと山本宣治の生涯を描く。
大正時代、生物学者の山本宣治は同志社大学で性教育の講義を行っていた。しかし政府が自由主義的な学生や労働者を取り締まり始め、宣治は大学を追放されてしまう。労働党の運動に加わった宣治は、両親や妻たちの理解を得て、政治の世界を目指すことに。昭和3年、労働党から普通選挙に出馬した宣治は、妨害や弾圧をはねのけ代議士に当選した。治安維持法をさらに改悪しようとする政府に対し、宣治は衆議院にて反対討論を行おうとするが、その前日、右翼団体の構成員に刺殺されてしまう。

【クレジット】
監督 山本薩夫
製作 角正太郎
伊藤武郎
原作 西口克己
脚本 山形雄策
依田義賢
撮影 前田実
美術 久保一雄
音楽 林光
録音 安恵重遠
出演 下元勉 山本宣治
渡辺美佐子 山本千代
東野英治郎 山本亀松
小沢昭一 農民
細川ちか子 山本多年
宇野重吉 地下党員

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.